



通常
国会

第 213 回通常国会開会と予算委員会



2024.03.04

1月26日に第213回通常国会が開会しました。能登半島地震で被災された皆さまにお見舞い申し上げますとともに、復興を推し進めるためにも、令和6年度予算と各法案をしっかりと審議してまいります。

TVでご覧いただいた方もいらっしゃると思いますが、3月4日、予算委員会で総理ほか、各大臣に質問を致しました。テーマは「被災地の今後の医療体制」、「夜勤の看護職員確保対策」などです。

総理から「夜間看護職員配置加算の評価を含む看護職員の確保をしっかりと取り組むこと」、先の診療報酬改定において「全ての看護職員等を対象として物価高に負けない賃上げの実現」をという力強い回答をいただきました。その

他にも「災害時の福祉的支援」、「職場における子育て支援」、「こども・子育て政策」、「産後ケア事業」、「こども誰でも通園制度」、「母子保健DX」、「国際仲裁の活用の推進」、「終末期医療のあり方」、「学校における体罰及び不適切指導」、「いじめ重大事態の調査に係る第三者委員会」について質問致しました。

当日に質問時間の長さが決まるという新人には難しい状況でしたが、先輩や同期の温かな声援に背中を押していただきました。皆さまも応援ありがとうございました。

委員会の質疑の様子は右記 QR コードから

YouTube





臨時 国会

厚生労働委員会

2023.11.16

昨年になりますが、第212回臨時国会において、厚生労働委員会で、質問を致しました。質問は3つです。

1つ目はハラスメント対策について。医療現場における患者・家族、利用者からのハラスメント対策は急務です。訪問看護等のハラスメント対策を国がより推進すべきではないかと質問しました。この点については今年、少し対策が進みました。3月8日、厚労省から地域医療介護総合確保基金が訪問看護の防犯ブザー等の導入に係る経費にあてられることの明確化が通知されました。小さな一歩かもしれませんが、訪問看護の暴力・ハラスメント対策にしっかりと目が向けられたという意味では大きな一歩です。

2つ目は医療安全について。現在の人員配置基準等で、適切に安全対策を行うことを規定していないのであれば、厚労省で検討会等を開催し、それぞれの臨床現場で参考になるガイドランスなどを作成して対策の水準を示すべきではないかと質問しました。

3つ目は看護DXについて。現在、国は標準型電子カルテを開発中ですが(クリニックや小規模の医療機関向けのもの)、この電子カルテに看護記録の機能を持たせることは重要です。看護DXに関する国の現在の取組状況と今後の方針を問いました。

【参議院】

厚生労働委員会・議院運営委員会/委員
地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会/委員
国民生活・経済及び地方に関する調査会/委員

【自民党】

国会対策委員会/委員
厚生労働部会看護問題小委員会/事務局次長
厚生関係団体委員会/副委員長
青年局/次長(国際部副部長)、女性局/次長
中央政治大学院/副学院長、食育調査会/事務局次長など

政策 活動

こども・子育てDXプロジェクトチームの事務局長に就任

2023.12 -

昨年末、自民党のデジタル社会推進本部こども・子育てDXPTの事務局長を拝命しました。子育てと仕事を両立している看護職の皆さまの負担軽減につながるように、しっかりと取り組みます。

主なテーマは、「母子保健DXの推進、里帰りをする妊産婦への支援等」、「保育業務や保活のDXの推進」「適切な情報を適切なタイミングで支援の必要な方に届ける仕組みの構築」です。例えば妊婦健診、乳幼児健診、予防接種等の紙の運用を廃止し、PMHというマイナンバーカードを利用した情報連携を実現するシステムを用いて子育て当事者・自治体・国との同じ母子保健情報の共有をスムーズにします。



最後に、国会議員となって期間が経過する中で、少しずつ新たな役割を頂き、初めてのことにチャレンジする毎日です。この在任期間の中で訴えてきたことが少しずつ形になってきているものもあります。

看護の対策を実現するには何をすべきか、しっかりと考え、今後の活動を続けて参ります。引き続きご指導をよろしくお願い致します。

参議院議員

友納理緒 ともものうりお

発行：自由民主党東京都
参議院比例区第六十支部

2024年4月20日

